



たんぽぽ

八代市教育サポートセンター
子ども支援相談室だより
令和7年 3月号
文責 古杉 敬子

新学期からの「安定した登校」につなげるために・・・

いよいよ学年末になりました。

これから、少しずつ次の学年へ向けて、準備を進める時期でもあります。

ところで、この1年間、学校を休みがちだった子供さんもおられたのではないのでしょうか。

3月は、そのような子供たちにとって、「4月からは、学校に行ってみようかな・・・行ってみたいな」と、新学期への希望や期待を膨らませる時期でもあります。一方、不安や緊張を感じやすくなる時期でもあります。

4月に向かって、「何もかも新しくなって心機一転」「希望に向かって」といったところですが、学校を休みがちだった子供たちにとっては、環境の変化は大きな不安につながることも事実です。

特に小1、中1、高1の教育環境の変化は大きく、不安や緊張が増すものです。

実際にこれまでの相談の中にも小1、中1などの環境の大きな変化が影響し、学校を休みがちになってしまったという内容がありました。



◇登校へ向ける「原動力」となる家庭環境とは？

最も大切になってくるのが、子供が「安心・安全を感じられる」「心がリラックスできる」家庭環境です。そのカギとなるのは、子供が感じとる「安心・安全」です。そのベースとなるのは、「アタッチメント理論」にあります。子供が不安な時に養育してくれる大人に心理的、身体的にくっついて安心・安全を感じとることです。「心理的」とは、例えば安心できる言葉かけ、「身体的」とは、例えば手や背中をさする、抱っこ（主に幼児期や低学年）などが挙げられます。

「この家にいると、安心できるなあ」

「家に帰ると、心がリラックスするなあ」

といった感覚を子供自身が実感できる環境をつくることです。

このような感覚が学校生活の不安や緊張を感じながらも新学期を乗り越えていこうとする「原動力」としてはたります。

つまり、**安心を感じられる家庭であると、気持ちは前向きになれるのです。**

それでは、「安心・安全を感じられる」「心がリラックスできる」家庭環境をどのようにして整えていったらよいのでしょうか。



